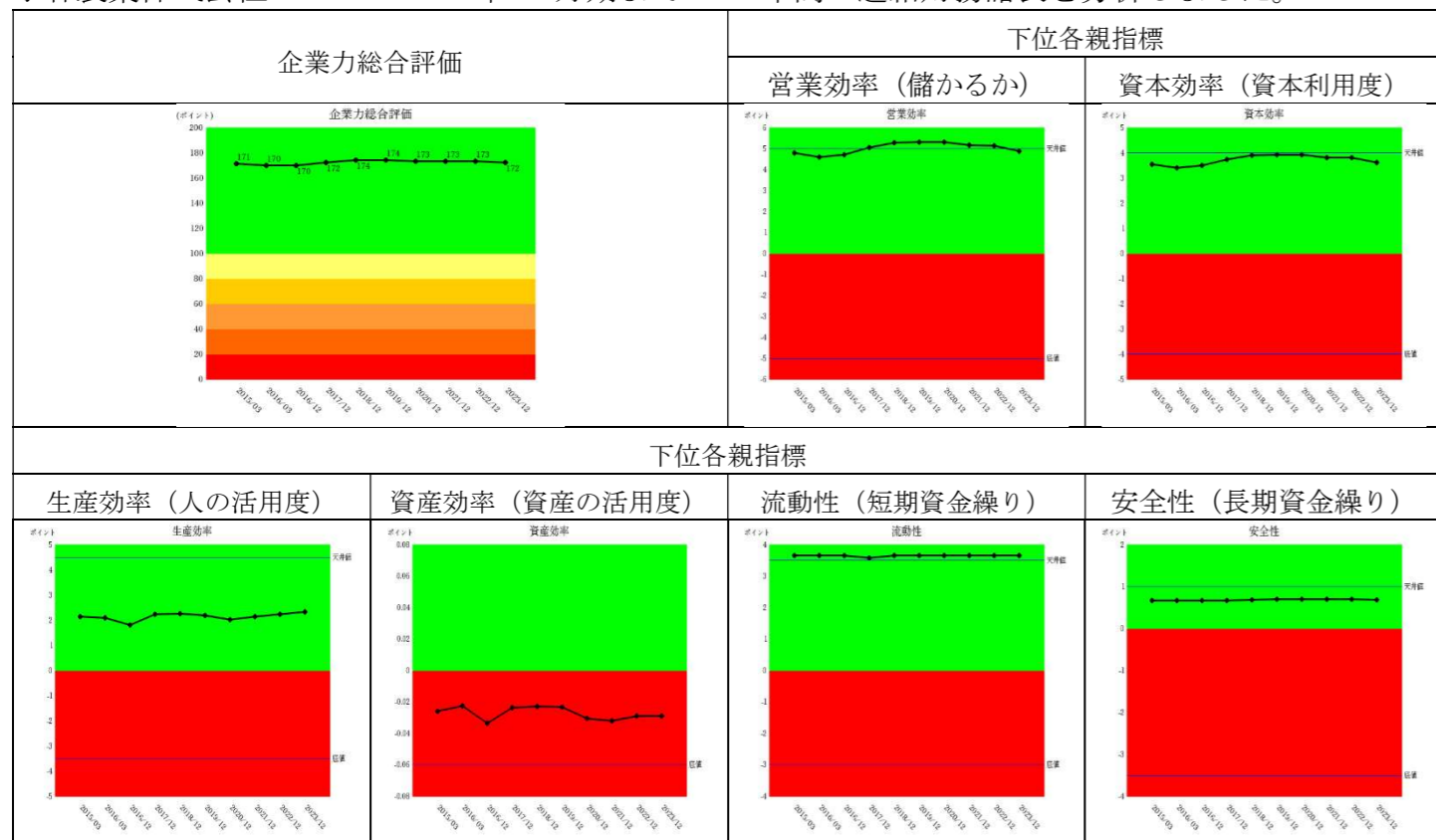
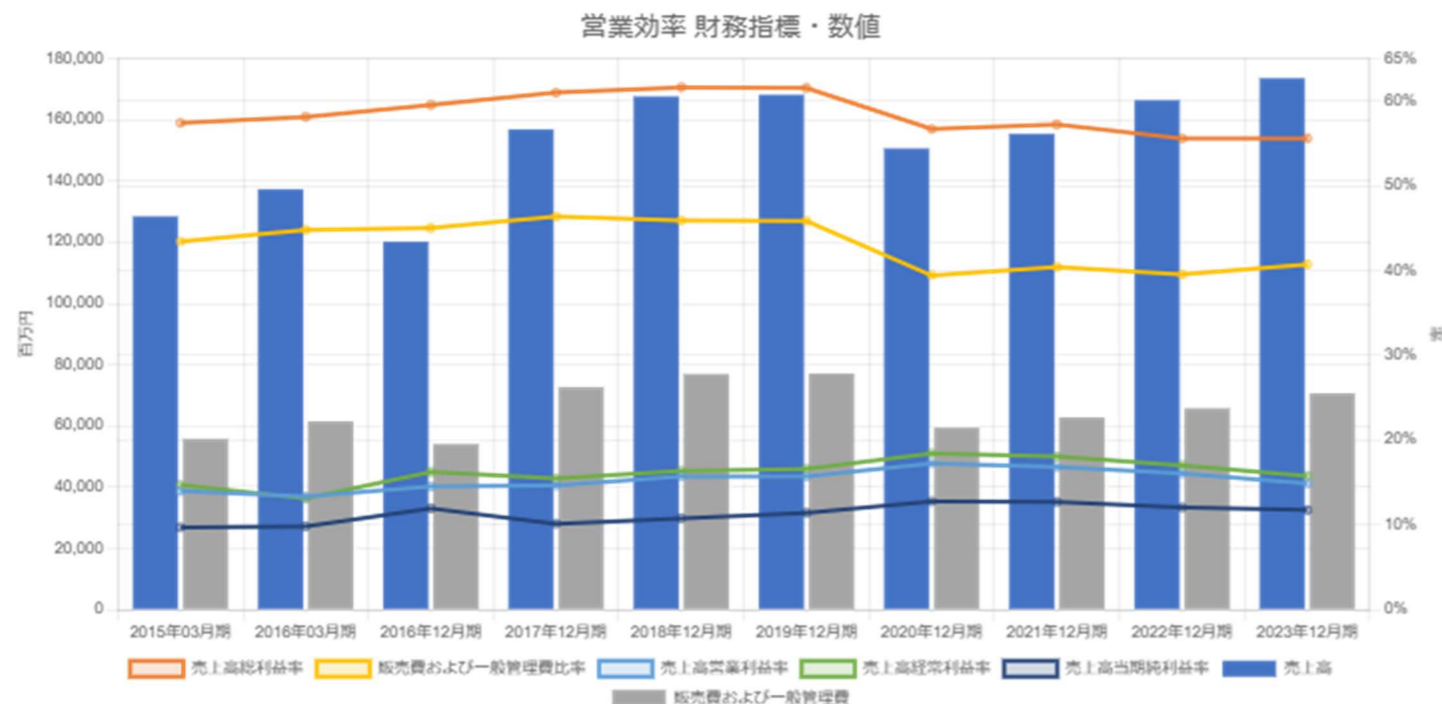


紅麹製品で健康被害に揺れる小林製薬株式会社。ありそうで無かった製品をわかりやすいネーミングで販売しています。日本人なら多くの方が愛用者となっているのではないでしょうか。

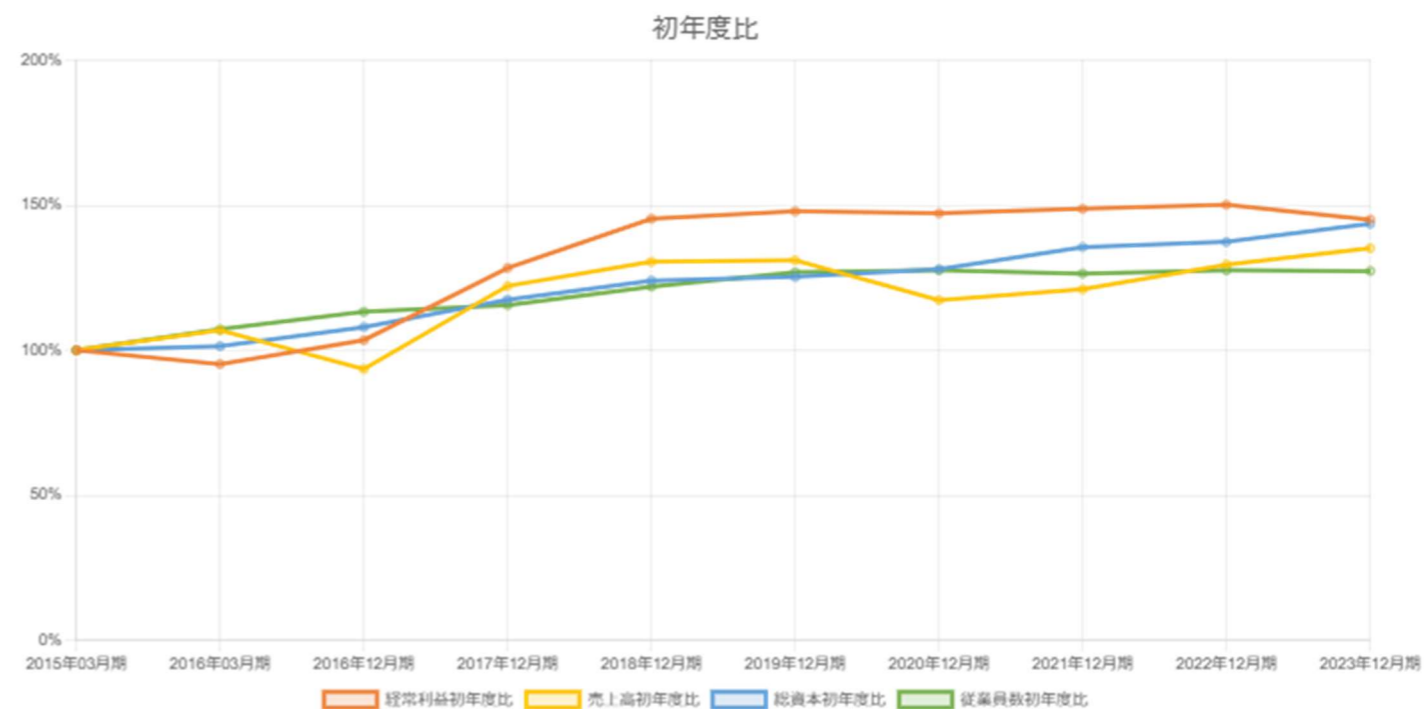
小林製薬株式会社の 2014~2023 年 12 月期までの 10 年間の連結財務諸表を分析しました。



企業力総合評価は見事です。下位指標である親指標をみると、資産効率が赤色ゾーンに入っており、生産効率が天井値ではありませんが、他は全て天井値をとっています。



左の営業効率 財務指標・数値のグラフを見て下さい。売上高は時々、ストンと下がったのち増収で、トレンドは増収です。売上高総利益率は改善トレンドののち悪化トレンドです。ただし、2023 年で最も低く 55.53% ですから圧倒的な数字をたたき出しています。グラフには示しません、小林製薬の売上高研究開発費比率は 5.01%、額にして 83 億 2900 万円です。外資系企業ではありますが 2020 年の統計資料によれば化学工業の業種平均の売上高研究開発費比率は 2% 台です。比較すれば 3 倍近く研究開発にお金を使っていることとなります。小林製薬の強さを生み出す 1 つの要因でしょう。



上記は初年度比のグラフです。時々入れ替わりはありますが、絶好調企業の順番、経常利益>総資本>売上高>従業員数です。

企業は従業員が支えています。その従業員の能力が伸びているかは生産効率親指標・財務指標と並んで、この初年度比のグラフで読めます。特に初年度比のグラフは直感的にわかります。

さて、紅麹問題が起きて小林製薬の株価は暴落しましたがその後、原因究明が遅れ被害の全貌もわからないのにジワジワ回復してきています。多くの方が、小林製薬の強さを信頼しているのではないでしょうか。

企業の不祥事を聞くと水俣病を起こしたチッソ株式会社を思い出します。同社は 2023 年 3 月期でさえ水俣病補償損失を特別損失に計上しつつも上場を維持し存続しています。

まとめ
不祥事が起こっても強いものは強い。小林製薬は会社一丸となって信頼回復に務めるでしょう。

編集後記 SPLENDID21 はホームページをリニューアルしました。経営がわかる財務分析とはどのようなものなのか？多くの方に興味を持っていただける仕上がりです。ぜひご確認ください。

(^^♪文責 JY

〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-6-19 プロパレス安土町ビル 7 階 D 号 株式会社 SPLENDID21
tel 06-6264-4626 ☒ info@sp-21.co.jp <https://sp-21.co.jp>